

市民と議会を結ぶ架け橋

# 上野原市 議会だより

No. 71

令和4年  
11月発行

## 9月定例会

### あおぞら



特集

うえのはらで頑張る人  
学校給食調理場

# あおぞら

特集	うえのはらで頑張る人	2
定例会で決まった主なこと		4
請願について		6
議決結果等一覧表		7
予算特別委員会		8
会期中の審査		9
決算特別委員会		10
一般質問		14
閉会中の委員会活動		19
市民の声		20



## うえのはらで頑張る人 Vol.24 学校給食調理場あおぞら



上野原小学校以外の小・中学校の給食を一手に引き受け、児童・生徒や先生からの信頼も厚い、「学校給食共同調理場」（愛称「あおぞら」）で働く皆さんからお話を伺いました。

児童・生徒に  
おいしくて  
栄養のある給食を提供

「四方津学校給食共同調理場」が正式名称です。愛称の「あおぞら」は、平成12年5月の調理場開設時に公募し、島田小学校の児童の応募が採用されました。

### どんな職場ですか

■ 上野原西小学校、上野原西中学校、島田小学校、秋山小学校、秋山中学校、上野原中学校の6校の給食を調理し、配送しています。

■ 職員は栄養教諭（管理栄養士と教員免許を併せ持つ者）1名、事務員1名、調理員18名、配膳員3名、配送員3名の合計26名です。

■ 災害時など学校が休校の時は連動し



て休みとなりますが、平常時において、職員が多数出勤出来ない場合などは、委託会社が人員調整をして派遣するなど支障のないようにしています。

給食の配送は、調理場を11時15分頃配送車3台で出て、2校ずつに配送し各校の先生に引き渡します。上野原西小では、配膳係員3人が引き取りから配膳まで行っています。

担当エリア6校の給食（栄養面・調理面）全般の管理を一人で担当しています。エリア内の児童・生徒は800人です。子どもとのふれあいも中々できない状態で、一人ひとりの様子がわからない事もあり、アレルギー等個別指導ができていないのが実情です。食物アレルギーに関しては、その時の食事に含まれているものなどは、資料として

参考までに先生にお知らせしています。



## コロナ対策は

コロナに関係する感染対策は、通常食品調理を扱う職場として、衛生面の管理を基本通り実施していますので問題はありませんが、給食は、配膳・食事・片付けなど感染リスクが高い活動なので、お皿の数が少なくなくて済むような献立を心掛けています。カレーなどはお皿が少なくなくて、配膳や片付けなどが短時間で済みます。



## やりがいや苦勞は

学校で「先生だー給食ありがとう。」と声をかけられた時や、学期末等に「給食いつも美味しく食べてます。嫌いなものが食べられるようになりました。」などの手紙が届いたときは嬉しいです。

給食の素材として慣れ親しんだ材料の「長寿みそ、長寿こんにやく、ひなづる雛鶴漬」などが、生産者の減少等で食材として仕入れができなくなってしまうことが残念です。何とか給食の原材料としての復活を願っています。

## SDGsの取り組み

昨年度から取り組みを始めました。新聞やラジオで取り上げられるなど高評価を得ています。上野原市のホームページにも紹介されています。今年度は「ゴミの削減」がテーマです。



## 行政や議会に要望すること

今まで一度も防災訓練を実施していないので、行政からの指導をお願いします。又、調理場が稼働中は外部の防災放送が全く聞こえません。対応策をお願いします。

## 取材を終えて

常に子どもたちの栄養バランスやアレルギー対策などを考え、地元の食材を使った献立を工夫する等、給食の原点である「美味しく栄養価の高い給食を、安心・安全を第一に提供する姿勢、その責任感と子どもたちへの熱い思いが伝わってきました。

9月  
定例会

定例会で決まった  
主なこと

令和4年第3回定例会が9月1日から9月22日まで22日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	28件
請願	2件
発議	1件
計	31件

※議案名・議決結果等は7ページをご覧ください。

条例  
改正

非常勤職員の育児休業が取得し  
やすくなります

議案第73号 上野原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定  
について

妊娠・出産・育児等と仕事の両立のために、非常勤職員の子の出生後8週間以内の育児休業の取得要件の緩和及び非常勤職員の子が1歳以降の育児休業の取得の柔軟化を図ります。

法改正により、産後パパ育休制度の創設、育児休業の原則2回取得ができるようになります。

条例  
改正

秋山温泉の敷地に車中泊  
専用駐車場（RVパーク）を設置

議案第76号 上野原市新湯治場秋山温泉施設条例の一部を改正する条例制定  
について

秋山温泉第2駐車場に、車中泊ができる設備を設置します。夜間も温泉のトイレが利用できます。  
利用料金は、一台につき、一泊5000円を上限とし、指定管理者と協議して決めます。



条例  
改正

上野原駅南口駐車場に  
日額最大料金が設定されます

議案第77号 上野原駅南口駅前広場条例の一部を改正する条例制定  
について

送迎用駐車場としての利用から、駅利用者の幅広い方に利用してもらうため、料金の規定を一部改定するものです。

現行 最初の30分無料 30分を超える時間  
30分ごとにつき200円  
改定後 現行に加え 当日の最大料金を  
800円とする（午後12時まで）

施行日 令和4年10月1日



条例改正

議案第74号

上野原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について

公営選挙の単価が改定されます

選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用通常葉書等の作成の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられた為、条例で規定している選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に係る規定が改正されます。

	現行	改定後
選挙用自動車借上げ	1万5800円/日	1万6100円/日
選挙運動用自動車の燃料費	7560円	7700円
選挙運動用ビラ	7円51銭/枚	7円73銭/枚
選挙運動用ポスター	525円6銭×枚数 +31万500円	541円31銭×枚数 +31万6250円

指定管理

議案第99号

上野原市立ゆずりはら自然の里の指定管理者の指定について

ゆずりはら自然の里

指定管理者が決まる

令和5年4月より市が指定管理者制度を導入し運営を行う上野原市立ゆずりはら自然の里の指定管理者の指定をしました。

指定管理者

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1  
株式会社イオンファンタジー

代表取締役 藤原 徳也

指定期間

令和5年4月1日から

令和15年3月31日まで



議案第75号

上野原市印鑑条例の一部改正する条例制定について

条例改正

印鑑条例の一部改正

マイナンバーカードを活用し、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機にて印鑑登録証明書の交付を受ける事が出来るようになるための改正です。

請願第2号

加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

### 請願

## 35人学級実施など教育全般に対する請願

北都留小中学校PTA連合会ほか3団体から提出された教育環境の全般的な改善を求めるもので、全会一致で採択されました。

発議第5号

加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校三十五人学級の実施、教職員定数の改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出

### 発議

## 教職員定数の改善など意見書を国に提出

請願2号の採択に基づいて、要旨以下の項目について国に意見書を提出しました。

- 一、教職員定数の実質的な増員で小中学校の35人学級を実施すること。
- 一、学校の働き方改革を行うために教職員定数の改善を推進すること。
- 一、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国負担割合を2分の1に還元すること
- 一、国における教育予算を拡充すること。

請願第3号

旧島田中学校グラウンドの人工芝生化に関する請願書

### 請願

## 「旧島田中学校グラウンドの人工芝生化」は継続審査

市全体を見据えてもう少し調査を行ったうえで結論を出すべきで、今回は継続審査とする委員長報告に対して、反対討論があり採決の結果、継続審査とすることに決まりました。



旧島田中グラウンド

請願とは、国民に認められた憲法上（第16条）の権利の一つです。国または地方自治体の機関に対して意見や希望を述べることができません。

議会に提出する場合は、文書で、請願の趣旨、提出年月日並びに請願者の住所及び氏名を記載し、請願者が押印します。紹介議員が必要です。

提出された請願は、所管常任委員会に審査を付託し、その審査の結果を本会議に報告し、議会としての採択、不採択の決定をします。採択した請願は、市長その他の執行機関に送付するに当たって、議会から処理の経過及び結果の報告を請求することができ、議会、執行機関双方に実現への努力が要請されます。

# 令和4年第3回定例会議決結果等一覧表

## ◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案 件 名	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
94	決算特別	令和3年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	◎	○	●	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
請願3	文教厚生	旧島田中学校グラウンドの人工芝生化に関する請願書	○	○	●	●	○	◎		○	○	●	○	●	○	○	○	○	●

請願第3号の委員長報告は継続審査です。賛成・反対は、委員長報告に対する態度です。

## ◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
73	総務産業	上野原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
74		上野原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	
75		上野原市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	
76		上野原市新湯治場秋山温泉施設条例の一部を改正する条例制定について	
77		上野原駅南口駅前広場条例の一部を改正する条例制定について	
78	文教厚生	上野原市営運動施設条例の一部を改正する条例制定について	可決
79	予算特別	令和4年度上野原市一般会計補正予算(第3号)	
80		令和4年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
81		令和4年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	
82		令和4年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	
83		令和4年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	
84		令和4年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第1号)	
85		令和4年度上野原市甲東財産区特別会計補正予算(第1号)	
86		令和4年度上野原市巖財産区特別会計補正予算(第1号)	
87		令和4年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第2号)	
88		令和4年度上野原市上野原財産区特別会計補正予算(第1号)	
89		令和4年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)	
90		令和4年度上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計補正予算(第1号)	
91		令和4年度上野原市秋山財産区特別会計補正予算(第1号)	
92		令和4年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)	
93		令和4年度上野原市病院事業会計補正予算(第1号)	
95	決算特別	令和3年度上野原市病院事業会計決算認定について	
96	—	令和3年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について	可決
97	—	令和3年度上野原市継続費精算報告書の報告について	受理
98	—	令和3年度上野原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
99	文教厚生	上野原市立ゆずりはら自然の里の指定管理者の指定について	可決
100	—	令和4年度上野原市一般会計補正予算(第4号)	採択
請願2	文教厚生	加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	
発議5	—	加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校三十五人学級の実施、教職員定数の改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書(案)の提出について	

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

予算特別委員会

委員長 白鳥純雄  
副委員長 山口 薫  
委員 議長を除く  
他 12 議員

議案第79号

令和4年度上野原市一般会計補正予算(第3号)

補正  
予算

5億6185万7千円増額補正

9月5日に開かれた予算特別委員会で審議され、  
全会一致で可決すべきものと決まりました。

主な歳出

■ 総務費	6847万4千円	市役所敷地内広場整備工事	335万円
		公用車へのドライブレコーダー設置	252万6千円
		移住者住宅取得等補助金	700万円
■ 民生費	4129万9千円	児童保育施設修繕及びおやつ代増額	494万6千円
		旧第二保育所解体工事費	2311万4千円
■ 衛生費	1368万1千円	子宮頸がん予防ワクチン接種費用	157万7千円
■ 農林水産業費	4132万4千円	びりゅう館入口扉・トイレ修繕	485万8千円
■ 商工費	1億1291万円	市内公衆トイレ設置・修繕費	1550万8千円
■ 土木費	2億8421万8千円	自然の里関連道路事業費	1億4890万円
		公園管理費	3859万6千円

補正  
予算

物価高騰対策特別支援事業

9月20日に追加上程され、委員会付託を省略し、  
最終日に全会一致で可決されました。

議案第100号 令和4年度上野原市一般会計補正予算(第4号)

■ 住民税非課税世帯等に対する臨時特別支援事業	1億5924万9千円
給付金1世帯5万円×3000世帯	
全額国庫補助金	

主な歳入

■ 消防費	434万1千円
■ 教育費	155万8千円
移動図書館車両購入費	535万8千円
■ 高物価対策(再掲)	
地域公共交通事業者への支援金	1669万7千円
介護サービス事業者への燃料費補助金	327万6千円
障害者福祉サービス事業所への燃料費補助金	80万7千円
小規模事業者支援金	8569万5千円
■ 地方交付税	1億7627万5千円
■ 新型コロナ対応地方創生交付金	8351万3千円
■ 繰越金の予算化	7991万2千円
■ 市債	1億5010万0千円

## 総務産業常任委員会

委員長 長田喜巳夫  
副委員長 尾形幸召  
委員 山口 薫  
白鳥純雄  
東山洋昭  
杉本公文  
岡部幸喜  
尾形重寅

9月7日委員会を開催し、付託された条例制定5件を審査しました。

議案第73号「上野原市職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のため、非常勤職員の育児休業取得要件の緩和や休暇の対象期間を拡大するものです。

議案第75号「上野原市印鑑条例の一部を改正する条例制定について」は、マイナンバーカードを活用しコンビニエンスストア等において印鑑証明の交付が受けられるようにするものです。委員から他の証明についても可能になるかの質問に、市では地方公共団体情報システム機構のシステムを利用しているため、今後この機構が開始する場合は検討することでした。

議案第77号「上野原駅南口駅

前広場条例の一部を改正する条例制定について」は、当日の駐車料を最大800円と定めるものです。

他の2案件を含む5案件について採決した結果、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、閉会中の継続調査として移住・定住対策、ジビエの加工場について、調査をすることとなりました。



## 文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘  
副委員長 杉本友栄  
委員 八木一雄  
遠藤美智子  
川田好博  
川島秀夫  
山口好昭

9月7日と9日に、委員会を開催し、付託された条例制定1件、指定管理者の指定1件、請願2件を審査しました。

議案第78号「上野原市営運動施設条例の一部を改正する条例制定」については、道路改良工事に伴い、旧桐原中学校体育館を解体したため、同項目を削除するものです。

議案第99号「上野原市立ゆずりはら自然の里の指定管理者の指定について」は、(株)イオンファントロジーを指定管理者に指定するものです。

以上、2案件について、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

請願第2号「加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡

充を図るための請願書」は、教職員の加配の増員、義務教育費国庫負担制度における国の負担率を1/2へ還元することを求めるものです。

請願第3号「旧島田中学校グラウンドの人工芝生化」に関する請願書は、スポーツを愛好する多くの市民が望む、旧島田中学校グラウンドの人工芝生化を求めるものです。

請願第2号については、全会一致で採択すべきものと決定しました。

請願第3号については、実際の経費がどの程度かかるのか、実現可能なのか等、引き続き調査する必要があるため、継続審査とすることに決定しました。

また、委員より自然の里の進捗状況について調査すべきとの意見があり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

3年度  
決算

私たちの納めた税金の  
使い道を審査しました

令和3年度の決算認定について、議長と監査委員を除く13人の議員で決算特別委員会が設置されました。9月9日、12日、14日の延べ3日間にわたり審査を行いました。

各課から担当者の出席を求め、令和3年度の1年間に使われたお金について、無駄なく効率的に使われたかどうか、その成果等について審査を行いました。延べ80件の質疑が行われました。最終日には、5人の委員が総括質疑を行いました。

審査の結果、議案第94号「令和3年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について」は、異議があり、起立採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

また議案第95号「令和3年度上野原市病院事業会計決算認定について」は認定すべきものと、議案第96号「令和3年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について」は可決すべきものと全会一致で決定しました。



内田倫弘副委員長



八木一雄委員長

令和3年度の決算規模

一般会計

歳入	127億1365万1983円	前年度比 13.2%減
歳出	119億3616万5367円	前年度比 15.4%減

特別会計(16会計)

歳入	71億1790万9347円	前年度比 1.0%増
歳出	67億6429万9041円	前年度比 2.0%増

決算特別委員会

委員長 八木 一雄

副委員長 内田 倫弘

委員 山口 薫 白鳥 純雄 遠藤美智子 川田 好博 川島 秀夫  
 杉本 公文 杉本 友栄 長田喜巳夫 尾形 幸召 岡部 幸喜  
 尾形 重寅

## 財政調整基金残高

- Q** 財政調整基金は減少しているのか。
- A** 財政調整基金の残高は、1億1千万円減少しましたが、令和4年度にクリーンセンター火災事故の賠償金として4億6千万円が計上されています。それを加えた残高は21億5719万6004円です。実質、3億5千万円増加したことになります。

# Q 質問 と A 答弁

決算特別委員会の議論の中から、いくつかの内容について、要約を載せます。

## 移住・定住者の現状

- Q** 移住に必要な登録件数と情報を求める相談件数の状況は。
- A** 空き家バンク登録は年間約40軒あり登録件数は増えているが、空き家を求める情報提供者は約200件あり、物件が不足しているのが現状です。

## ナラ枯れの被害

- Q** ナラ枯れはどういったものですか。
- A** ナラ枯れ被害は、カシノナガキクイムシにより持ち込まれるナラ菌が樹体内に入ることによって通水機能が損なわれ枯れる仕組みになっています。その対策は被害を受けて枯れた木を伐倒し、薬剤を噴霧する薬剤処理と伐倒した木を集めビニールで覆い燻蒸し殺虫する2種類の方法があります。

## 市営住宅の修繕費

- Q** 市営住宅の老朽化に伴う主な修繕箇所と年間修繕費は。
- A** 修繕箇所については、漏水等による配管修繕など水回り関係が主なものとなっています。令和3年度の市営住宅全体の修繕費につきましては、約683万円支出しており、今後も同程度の支出が見込まれます。



市営小沢東団地



## 談合坂スマートインター

- Q** 談合坂スマートインターチェンジの供用開始後の状況について説明を。
- A** 目標値は1日1300台でしたが、令和3年度の実績は、1日734台でした。コロナの影響もあったと考えています。国道20号に通じる県道拡幅については、県に要望していきます。国道へのきめ細やかな標識については、改善を検討していきたい。

## 地域公共交通

- Q** 地域公共交通の整備について住民のニーズに合わせた運用が必要ではないか。
- A** 公共交通網形成計画の中で住民のニーズに応じて運用していきたい。デマンドタクシーの上野原駅の乗り入れなどの住民の要望を課題として関係者と共有し、協議を重ねていきたい。

## スクールバスの運行状況

- Q** 児童生徒が減少する中で、今後のスクールバスの運行について、乗車についての柔軟な対応を希望するが。
- A** 合併当初は24台だったが現在は19台、今後2台の減少が予想される。乗車については、上野原高校生徒や、湖南団地児童の乗車実績があり、今後も要望に対し柔軟に対応していきます。

## 子どもの学習支援

- Q** 利用状況は。
- A** 令和3年度は年20回開催しました。登録している児童生徒数は20名で、延べ228名が利用しました。教室在籍の中学3年生は全員高校進学をしました。子どもは市の宝です。今後も引き続き支援をしていきたいと考えています。

## みんなで支える地域支援事業

- Q** コロナ禍のため、事業が中止となり予算の執行ができませんでした。代わりとなる個々への支援が必要では。
- A** 太陽の集い事業として、笑顔写真を集めアルバムを作成し全戸配布をしました。また、ハッピーバースデー事業は58件の訪問を実施しました。今後も地域同士の関係を繋げていきたい。

## 甲斐の国・防災リーダー養成講座

Q 甲斐の国・防災リーダー養成講座における防災士資格の取得状況と、地域防災における活用は。

A 令和3年度は市職員5名、これまでには、市職員16名、市民10名の計26名が防災士の資格を取得しています。今後は、地域の防災リーダーとして区や自主防災会などの実情に合った活動が出来るように取り組んでいきます。

## 危険木の伐採状況

Q 森林整備に欠かせない危険木の伐採状況と危険箇所は。

A 区長等より危険木の連絡を頂いたら産業振興課で現場を確認し、放置した場合に危険だと判断すれば、関係課と協議し、補正予算等に計上し、伐採を行います。尚、令和5年度は甲東地区の中風呂地区内の伐採を予定し、当初予算案に計上予定です。

## 防災士等の活動

Q 市の支援で資格を取得された防災士や、市の講習で養成された地域防災リーダーの人たちに、今後どのような活動をしていただきたいのか。

A 防災士や地域防災リーダーの意見を聞きつつ、積極的に活動を希望する方については、地域の実情に合った自主的な取り組みが出来るよう支援していきたいと思います。

## 地区防災計画の作成

Q 各地区がつくる地区防災計画は、現在どのようになっているのか、実際に計画が機能していない地区があると思うが、現状を把握して整備を進めていただきたい。

A 各地区に対し、地区防災計画の作り方を示していますが、作成については地域によって差があります。今後は地域防災リーダー等を養成するなかで進めていきたいと思っています。

## 救急救命士養成

Q 救急救命士養成について今後の計画は。

A 毎年1名が研修に出向しています。また、救急救命士の資格を有する者の採用を進めているため、関係する専門学校や大学へ採用試験への応募をしてもらえるように要請していますが中々応募がない状況です。今後も要請していきます。



## 各議員の主な質問項目

川島秀夫議員

- 1 情報通信網の整備について
- 2 保育所・認定こども園給食費の取扱いについて

尾形幸召議員

- 1 旧平和中学校の利活用を進めるには
- 2 子供たちの大志を育てる仕組みづくり

山口好昭議員

- 1 将来に希望の持てるまちづくりビジョンについて
- 2 合併17年、主たる基盤整備、評価、改善について 他

杉本公文議員

- 1 地域おこし協力隊について
- 2 鳥獣害対策について 他

白鳥純雄議員

- 1 公約実現への取り組みについて
- 2 生涯スポーツへの取り組みについて 他

山口薫議員

- 1 情報通信の地域格差解消について
- 2 通勤者の支援について 他

長田喜巳夫議員

- 1 運転免許返納者の状況について
- 2 情報基盤整備事業について 他

遠藤美智子議員

- 1 地域防災力の強化
- 2 少子化対策 他

川田好博議員

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 医療の問題 他

八木一雄議員

- 1 学童保育施設の環境整備と保育所送迎「駅前ステーション」設置に向けて
- 2 小中学校「施設：揺らぐ安全管理」について 他

## 情報通信網の整備について 認定こども園・欠席児の給食費



川島秀夫

質問

情報通信網整備について。

一部エリアではサービス提供に向けて準備を開始している。NTTから回答を受けています。その他のエリアについては、NTT側独自でエリア拡大は難しいので、初期投資の一部負担があれば拡大可能だとの回答も併せて頂いています。

質問

NTTは民間営利会社。採算重視、高収益を上げるべく日夜努力をしている事は当然の事であります。不採算地域へ新たな事業を起こす訳がない事は、今日も変わらないと思います。到底突然赤字覚悟で取り組むとは考えられないことです。

答弁

必要な財源を含め、覚悟を決めて取り組みます。

質問

認定こども園・欠席児の給食費について。

答弁

学校は、五日以上欠席の場合3日前までに連絡があれば給食費減額しています。

意見

こども園は、入所時に、減額しない旨を確認をしている為、減額しません。入園時の重要事項説明書で、減額しないと確認済みであるとの事。学校との取り扱いの違いについては理解しがたい。こども園小中学校給食費無償化の、市長公約はどこへ行ったのか。見えないところに、光を当てた行政をしてほしい。学校給食施設の併用はできないのか。

答弁

施設の老朽化している事もあり、新たなシステム改善する中でこども園も併用できるか検討していきます。



旧平和中の利活用を進めるには  
子ども達に大志を抱かせるには



尾形幸召

将来に希望の持てる  
まちづくりビジョンについて



山口好昭

質問

旧平和中学校三階の空き教室でテレワーク施設の開設はできないか。

答弁

民間事業者との共同事業を基本方針とし、現在策定を進めるテレワーク施設等の事業環境も含め総合的に検討します。

質問

現在、耐震完了校舎は。

答弁

旧平和中、旧西原中、旧桜井小、旧浜沢小の四校舎です。旧島田中は未完了でも撮影利用のみ使用中。

質問

市の遊休施設を活かす知恵は。

答弁

現在、公有財産活用の基本方針を定めるべく各課を横断する枠組みで検討を行っています。

質問

子ども達に大志を育む仕組みづくりとして、学校教育の在るべき仕組みは。

答弁

キャリア教育、職業教育の充実を掲げ取組む。夢の教育プロジェクトとしてアスリートなどを小・中学校に



答弁

保護者との相談がしやすい体制づくりが必要です。子ども達には一人ひとり個性があり、家庭と学校、地域で一緒になって進めていくことが必要なのではと考えます。

質問

家庭教育の粘りある仕組み。

質問

ゆずりはら自然の里事業に不可欠、市道芦瀬線咎刺線県道丹波山線大垣外愛の泉県道あきる野線、尾続集落内拡幅改良の進捗を伺う。

答弁

県道あきる野線、尾続地内拡幅改良については県に於いて今年3月13日に概略設計の段階での地元説明会を行ったとのこと。今後は路線測量及び詳細設計を行い用地測量を経て用地取得が完了したところで工事発注を行う予定で、丹波山線大垣外愛の泉付近は昨年度、基本設計を行い、今年度は詳細設計を行うと共に予定される橋梁や周辺構造物の予備設計を行う予定と伺っています。

市道芦瀬線拡幅改良は県道入口から施設までの進入口になり萬瀬橋からの咎刺線は昨年11月地元説明会を開催し地権者へ説明する中、用地交渉を進めており基本

意見

尾続地内は元々、桐原三二山から桐原大橋までの拡幅の計画がありました。現職県議が3年前に尽力、復活させた経緯があり延長800mの間を二期工事で行う。一期工事の尾続集落内の拡幅概略設計の説明があり同意された。大垣外愛の泉は大型バスの通行に支障があり自然の里発展には早期の改良が必要。



情報通信基盤整備事業について  
市内の情報格差解消への協議は



杉本公文

質問

全市内にNTT光の整備は、村上市長の最大の公約で、NTTとの協議では、一部エリアについて、サービス提供に向け準備を開始したとNTTからの回答を受けて、その他のエリアについても、市が初期投資額の一部を負担することで、市内全域へのエリア拡大に向け協議中と、市長からの説明ですが、いつ頃までに決定するのか伺います。

答弁

市は基本的に答申の通り尊重すると言いますが、答申では、放送設備等の更新費用は、CATV事業者が自らが事業を実施するために費用を負担すべきとしております。約8億円の費用は誰が負担するのですか。基本的には答申の通り進めると決定し、事業者の選定も公募とし、市長としては事業者が負担すべきと考えています。又、音声告知端末は廃止する方針です。

他に、地域おこし協力隊と鳥獣害対策について、質問をしました。

質問

当市の通信事業における検討委員会の答申が出され、

災害に強いまち  
スポーツ施設への取り組み



白鳥純雄

質問

雪害や風水害、様々な災害に対する防災力強化への取り組みを伺う。

答弁

地域防災リーダー養成講習の開催をはじめ、様々な訓練、研修の開催や職員に対する訓練研修を行い防災倉庫、備品、資機材の整備を行い、防災力強化に努めています。

要望

沢松防災広場と秋山離着陸場の地表面、アスファルト舗装の修繕を早急に対処するよう強く求めます。

質問

運動施設や設備の不具合による事故が報道されているが、市内各施設の整備管理状況を伺います。

答弁

設備の事故事例の報告を受けて、昨年専門業者による点検を行い、異状の報告はありません。重量のある鉄製バレーボール支柱での事故防止を含め、安全確保、軽量化を図るため支柱の購入をしました。



他に、耕作放棄地解消とサルの被害対策について質問しました。

持続可能な上野原のために、  
いま、最善の対策を！



山口 薫

運転免許返納者の状況について



長田喜巳夫

質問

NTT光のエリア拡大は、各地区一斉に同時期に行う事に意義がある。NTTにねばり強く交渉を。

答弁

市もエリア拡大に向けて、来年度の当初予算に計上しながら、早期に実施できるように進めていきます。

質問

鶴島地区の県道は狭く、交通量も多く、事故も多発し危険です。住民は一日も早い拡幅を望んでいます。

答弁

県から「地権者の承諾が得られた所から、順次着手出来るよう計画の見直しに向けて取り組んでいる」との回答を受けています。

質問

通勤者への支援として、通勤困難時の支援、駅発夜9時半以降のバス確保、駅前保育支援の実施を。

答弁

通勤困難時の支援と駅発バスの時間延長については研究検討し、駅前保育サポートについては、先進事例を参考にしていきます。



質問

環境面でも防災面でも有効な、自然エネルギーの発電や蓄電池、電気自動車等の購入に一定の助成を。

答弁

助成については他市町村の状況を参考に、制度化に向けて取り組んでいきます。

質問

防災士や地域防災リーダーの組織化と、活動の指針が必要であると思うが。

答弁

地域防災リーダーの意見等を聞き、必要な支援を行いたいと思います。

質問

災害時に使える非常用飲料水施設の位置、活用方法を市民に周知すべきと思う。

答弁

各家庭の備蓄要請も含め、各機会を通じて周知していきたいと思えます。

質問

3年間の返納者の状況は。直近返納者は、令和元年度108人、2年度96人、3年度78人で合計282人となっております。

答弁

返納者への支援金の交付状況と利用状況は。

質問

高齢者運転免許証自主返納支援事業の交付状況は、令和元年度73人、2年度81人、3年度69人、合計223人で申請者に一人当たり1万2000円のバス、タクシー共通利用券を交付しています。利用状況は、1枚100円で元年度1522枚、2年度396枚、3年度4886枚です。

質問

有効期限が2年のため元年度、2年度の失効枚数は。

答弁

元年度は8760枚発行したが4194枚失効、2年度は9720枚発行し9月1日現在で1452枚失効しています。

意見

元年度は約半分、2年分は約15%が失効しているため有効期限を延長すべき。

質問

高齢者が自家用車に頼らなくても生活できる環境整備が必要。今後どう交通体制を整備していくか。

答弁

地域公共交通網形成計画を見直し、今後の公共交通の方向を定めていきます。

意見

駅へのデマンドの乗り入れなど住民からの要望を受け止め、利便度の良い持続可能な地域公共交通体系を確保するよう求める。

意見

他に、情報基盤事業、人口減少とまちづくり、生活基盤の整備について質問しました。



## 風水害・土砂災害対策 少子化対策



遠藤美智子

**質問** 県は今年度より、郡内地域にも「大雨リスクの認識と備え」を促した。水位計の設置等をHP等で市民への啓発が必要では。

県は今年度より、郡内地域にも「大雨リスクの認識と備え」を促した。水位計の設置等をHP等で市民への啓発が必要では。

**答弁**

国交省の防災情報を市のHPから確認できることを、広報やLINE等に掲載し広く市民に周知していきま

**質問**

若者世代の定住に求められるのは雇用と子育て支援の充実が重要。企業が奨学金の肩代わりをすることにより若者移住促進や地域産業の人手不足等の解消につながる「奨学金返済支援制度」の取り組みについて問う。

**答弁**

若者の定住に対して何が必要か、他の支援策を含み検討します。

**質問**

地域少子化対策重点事業費を活用し、結婚新生活支援



**答弁**

限られた財源の中で、その効果と、必要な事業を検証し実施していきたいと考えています。

**質問**

子どもの人権が尊重され、子どもが笑顔で健やかに育つために「子どもの人権に関する条例」を制定すべきでは。

**答弁**

今後、子育て施策の実施の際、子どもの権利が尊重される条例制定など、協議し検討していきます。

他に、学校施設のZEB化と、男性トイレの個室にサニタリーボックスの設置について質問しました。

## 子どもの権利条約を土台に



川田好博

**質問** 学校給食費の全学年の無償化は。

化は。

必要となる財源の精査をし、財政部門との協議を行いながら検討します。

**川田**

高校生、大学生のパソコン購入の補助は。

**答弁**

高校生については入学時に県が今年度5万6800円補助しています。生活保護受給世帯と4人家族として年収約350万円以下の世帯です。今後対象世帯の拡大等を県に要望していきま

**質問**

学童保育の保育時間を子ども園並みに延長する必要があると思うが。

**答弁**

委託先との協議を続けています。土曜、長期休業中の開始時間についても、保護者の要望を確認して、協議をしていきます。

**質問**

保育・教育内容について、子どもの権利条約にあるように子どもの人権、学習権、



**答弁**

子ども園等では、セルフチェックリストなどで、認識の向上を図っています。

**質問**

子どもの権利条約を土台にした教育活動が展開できるよう、教師が自主的自発的に研修会に参加すること等により、指導力が向上し、より有効な教育活動につながるようにしています。

**質問**

就学援助制度の新入学児童生徒の学用品費等の支給額の改善を。

**答弁**

新入学児童生徒の学用品費等の額については、国の基準に引き上げるよう努力していきたい。

## ICT教育の取り組みと成果 教育行政の推進について



八木一雄

**質問** ICT教育を導入して1年経過。オンライン授業の実践をおよびの成果は。

ICT教育は、これからの社会を生き抜くための不可欠な教育条件の一つ。全て子どもたちの可能性を引き出し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指しつつ、従来の教育が果たしてきた「知・徳・体」を一体的に育むことも取り入れて、「教育は未来への先行投資」という視点を持って教育行政の役割を果たして行きます。

**質問**

これからの教育行政をどう推進するのか。

**答弁**

インターネット通信の接続環境の整備、一人一台パソコンでの活用、オンライン授業や学習の実施により、子どもたちの学習保証に取り組めた。特に不登校傾向の生徒が授業に参加するなど成果もありました。

**答弁**

他に、学童保育施設の整備と保育所送迎の負担軽減について質問しました。

**質問**

オンライン学習教材「ミライシード」の活用状況は。

**答弁**

授業時間の3割以上でオンライン学習教材等、ICTを用いた授業を行うと共にほぼ毎日、端末の持ち帰りを行っています。夏休み期間中も端末の持ち帰りを実施し、自宅学習に利用するなど県内でも先行した取り組みの実施ができています。当学習教材は全国約300の自治体で利用しており、上野原市教育委員会の活用率は全国第2位との報告を



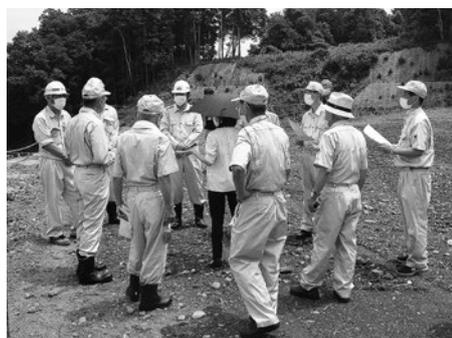
## 総務産業常任委員会

- 委員長 長田喜巳夫  
副委員長 尾形幸昭  
委員 山口 薫  
白鳥純雄  
東山洋昭  
杉本公文  
岡部幸喜  
尾形重寅

7月21日閉会中の調査として、「土地利用について」視察を行いました。

神奈川県企業庁が使用している鶴島地区の旧島田中学校グラウンドから東側辺りの土地については、企業庁の浚渫土砂の仮置き場とのことで、メインの仮置き場は旧中野区の土地とのことです。土砂の利用方法については、県央骨材組合などの骨材利用、鶴島土地改良区などでの埋め立て利用、茅ヶ崎海岸での養浜利用を予定しているとのことです。委員からの年間浚渫量の問いに、令和4年度は15万 $m^3$ とのことでした。

市所有の普通財産分の相模原水池浚渫事業と鶴島土地改良事業に係る土地賃貸借契約では、神奈川県企業庁に土砂の仮置き場として3万4千920 $m^3$ 、運搬路として1千800 $m^3$ を貸し付け、島田財産区所有分は、鶴島土地改良区に道路用地として



6千372 $m^3$ 、神奈川県企業庁に運搬路として407 $m^3$ を貸し付けているとのことです。鶴島土地改良区埋め立て事業においては、相模ダムの浚渫土、市発注の発生土、(株)建設資源広域利用センター幹旋の建設工事発生土を受け入れているとのことです。担当課においては、土地の管理者に情報を求め市内の土地の状況を的確に把握することを要望しました。

# 市民の声



上野原  
スケートボーダーズ  
代表 飯島莉音さん

## 上野原市にスケートボードパークを

私は上野原市にスケートボードパークを作る活動をしています。3年前にスケートボードを始め、今ではスケートボードにとっても魅力を感じています。東京オリンピックで、スケートボードが正式種目として行われました。そしてストリート部門で男女共に金メダルを獲得しました。この影響によりスケートボード人口が大幅に増えました。上野原市にスケートパークを作ることで、上野原市をより活気のある町にできると考えました。上野原市に來れば自然を満喫しながらスケートボードをすることができるようにと考えています。スケートボードを始めたての人や、長年やっている人はもちろん、今からスケートボードを始めようとしている人など、誰でもスケートボードができる環境を作っていきたいと考えています。今現在は、上野原の桂川の河川敷の一角で、スケートボードをしています。興味がありましたら是非一度お越しください。

## 12月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1	2	3
		本会議	議案調査	議案調査	委員会 予算特別	
		傍聴可				
4	5	6	7	8	9	10
	委員会 総務産業 文教厚生	議案調査	議案調査	議案調査	本会議 一般質問	
					傍聴可	
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 一般質問	本会議 一般質問 予備日	本会議			
	傍聴可	傍聴可	傍聴可			

### 議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

### 託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

### 編集後記

今年は新型コロナウイルスに加え、2月のロシアによるウクライナ侵略の影響で、原油価格・物価高騰という二重の困難と立ち向かう厳しい年です。議会として市民の暮らしを守るための対策を講じてきました。引き続き、歩みを止めることなく前に進み続けていきます。

編集委員会では「市民と共につくる議会だより」を編集方針として、2017年に「うえのはらで頑張る人」がスタート、これまで24団体をご紹介してきました。これからも議会だよりを通じて議会をもっと身近に感じていただけるよう研さん、努力をしていきます。今後とも、皆さまの忌憚のない声を議会にお寄せいただきますようお願いいたします。（遠藤）



QRコードです



QRコードです



議会だより編集常任委員会  
委員長 川田 好博  
副委員長 山口 薫  
委員 内田 倫弘  
委員 八木 一雄  
委員 白鳥 純雄  
委員 遠藤美智子